

# こいわうち 小岩内のきせき



小岩内集落 × 新潟デザイン専門学校 × 村上市

# こいわうち 小岩内の きせき

小岩内集落 × 新潟デザイン専門学校 × 村上市





にいがたけんむらかみし      こいわうちしゅうらく  
新潟県村上市にある   小岩内集落。

しぜん ゆた      やま      いえいえ      なら      ちい      しゅうらく      じゅうみん      なか      よ  
自然豊かな   山あいには家々が並ぶ   小さな集落で   住民はとても仲が良く

たが      たす      あ      せいかつ      おく  
互いに助け合いながら   生活を送っていました。



が っ か あ さ ふ つ づ あ め け は い  
8 月 3 日 朝 から 降 り 続 く 雨 は や む 気 配 も な く  
よ る ね む じ ゅ ん び あ め つ よ ふ  
夜 に な り 眠 り に つ く 準 備 を し て い る と 雨 は さ ら に 強 く 降 っ て き ま し た。

く ち ょ う ふ あ め み  
区 長 は 降 り や ま な い 雨 を 見 な が ら  
し ょ う わ ね ん お お ひ が い う う え つ す い が い  
昭 和 42 年 に 大 き な 被 害 を 受 け た 「 羽 越 水 害 」 を  
お も だ  
思 い 出 し て い ま し た。  
お お ひ が い  
「 大 き な 被 害 が で な け れ ば い い が . . . 」

く ち ょ う こ う か い ど う し ゅ う ら く ぼ う さ い し し ょ う ぼ う だ ん あ つ  
区 長 は 公 会 堂 に 集 落 の 防 災 士 と 消 防 団 を 集 め  
じ ゅ う み ん ひ な ん け つ だ ん  
住 民 を 避 難 さ せ る こ と を 決 断 し ま し た。



どんどんどん！！

<sup>はや</sup><sup>お</sup>  
「早く起きろー！」「にげるぞー！」

<sup>しょうぼうだん</sup><sup>と</sup>  
消防団が戸をたたきながら <sup>おお</sup><sup>こえ</sup><sup>ひなん</sup><sup>よ</sup>  
大きな声で避難を呼びかけます。

<sup>つよ</sup><sup>ふ</sup><sup>あめ</sup><sup>おと</sup><sup>こえ</sup><sup>け</sup>  
しかし強く降る雨の音で 声がかき消されて <sup>お</sup>  
なかなか起きません。  
<sup>しょうぼうだん</sup><sup>ひっし</sup><sup>つづ</sup>  
それでも 消防団は必死に たたき続けます。





こうかいどう ひなん じゅうみん つよ ふ つづ あめ ふあん おも み  
公会堂に避難した住民は 強く降り続く雨を 不安な思いで 見ていました・・・

あめ はげ ふ あめ み  
ところが雨はどんどんひどくなり 激しく降る雨を見ていると

しょうわ ねん うえつすいがい きおく  
昭和42年の「羽越水害」の記憶が よみがえってきました。

こうかいどう あぶ どしゃ の こ  
「このままだと 公会堂が危ない。土砂に飲み込まれてしまうぞ！」

くちょう たかだい じゅうたく にじひなん けつだん  
区長は 高台にある住宅への 二次避難を決断しました。





じゅうみん　うえつすいがい　とき　ただい　ひなん　たす　けいけん　おも　だ  
住民は　羽越水害の時　高台に避難して助かった経験を思い出し  
はげ　あめ　くらやみ　なか　とき　おな　みち　とお  
激しい雨がたたきつける暗闇の中　あの時と同じ「いのちの道」を通り  
たが　たす　あ　ひなん  
互いに助け合いながら　避難しました。



「どー！どー！どー！」

4日未明には 集落の後ろにある 砂防ダムにたまった

土砂が土石流として 大きな音を立てながら 押し寄せ

辺り一面に 泥の匂いが立ち込めました。

小岩内は停電し 真っ暗な中で 身を寄せ合い

不安な夜を過ごしました。

と”と”

と”





よる あ じゅうみん しゅうらく か は すがた め  
夜が明けると 住民は集落の変わり果てた姿を目にし  
おどろ  
驚きました。

たす  
「みんな助かったのだろうか・・・」

なが ひと  
「流された人はいないか・・・」

な ひと  
「亡くなった人はいないのか・・・」

くちょう ぼうさいし しょうぼうだん あつ きょうりょく かくいえ  
区長は防災士と消防団を集め 協力して各家をまわり

じゅうみん あんぴ かくにん  
住民の安否を確認しました。

くちょう ぜんいん ぶじ かくにん こいわうち お  
区長は全員の無事を確認すると 「小岩内にきせき起きた」

あんど いき  
と安堵の息をつきました。





どせきりゅう　なが　じゅうたく　たいりょう　どしゃ　なが　こ  
土石流が流れてきた住宅には　大量の土砂が　流れ込んでいました。

く　ひ　く　ひ　どしゃ　てっきょ　つづ　なか　ぜんこくかくち  
来る日も来る日も　土砂の撤去が続く中で　全国各地から

おお　たす  
多くのボランティアが　助けにきてくれました。

ボランティアによる炊き出しでは  
炊き立ての温かいご飯をいただき  
これからの生活への不安が募る中  
元気をもらいました。



おお　ひがい　う　こいわうち　ひなんしじ　だ　あいだ  
大きな被害を受けた小岩内には　避難指示が出され　しばらくの間

かせつじゅうたく　うつ　す  
仮設住宅に　移り住むことになりました。

な　なか　たす　あ　ひび　す　きずな　ふか  
慣れない中でも　これまでどおり助け合いながら日々を過ごし　絆を深めました。



かせつじゅうたく    せいかつ    つづ    なか    み    むらかみしふっこうはなびたいかい  
仮設住宅での生活が続く中で見た 「村上市復興花火大会」。  
はなび    じゅうみん    いちにち    はや    ふっこう    ねが  
花火をみつめる住民は    一日も早い復興を願いました。





ひなんしじ　かいじょ　にちじょう　と　もど　こいわうち  
避難指示が解除され　いつもの日常を取り戻した小岩内で

ひさびさ　おこな　しゅうかくさい  
久々に行われた「収穫祭」。

じゅうたく　なが　ひと　さんか　いぜん　おな  
住宅が流された人も参加して　以前と同じような

にぎわいが　こいわうち　もど  
にぎわいが　小岩内に戻りました。







こいわち じゅうみん たす あ おお ひがい う  
小岩内は 住民が助け合い 大きな被害を受けても

いのち うしな  
ひとりの命も失うことはありませんでした。

なか よ きょうりょく せいかつ こいわち つづ  
仲が良く協力して生活する「小岩内」はこれからも続きます。

こいわち  
そしてこの「小岩内のきせき」は

かた つ  
これからも語り継がれることでしょう。





# 絵本「小岩内のきせき」

## 【令和４年８月３日からの大雨による災害】

令和4（2022）年8月3日、前線を伴った低気圧が新潟県内へと南下して下越地方に停滞。佐渡方面から活発な雨雲が流れ込み、強い雨が降り続けました。

午後2時、市は村上・朝日・山北地域の5施設に避難所を設置し、午後2時 38 分、上海府地区、朝日・山北地域全域の 5,560 世帯、14,113 人に避難指示を発令。午後4時 10 分、土砂災害の危険と河川の増水が予想されることから荒川・神林地域の荒川地区公民館、神林農村環境改善センターの2施設を自主避難先として開設しました。更に、午後7時 30 分、三面川の上流にある三面ダムで緊急放流が予定されていることに伴い、村上地域の三面川流域 14 町内に避難指示を命令しました。

4日未明には、荒川・神林地域で猛烈な雨が降り、荒川頭首工付近の集落である小岩内や花立、貝附集落では土石流による建物被害が多発しました。

土砂災害の直撃を受けた小岩内集落では、区長をはじめ集落の役員や消防団がいち早く住民の避難誘導を開始し、深夜にもかかわらず、高齢者を安全な高台へ誘導しました。昭和 42(1967) 年に大きな被害をもたらした「羽越水害」の経験を基に、人的被害を最小限（負傷者1人）に食い止めることができました。

災害で被害を受け、小岩内集落から他の地域などに転居して生活をしている方も、毎年行われている「収穫祭」に参加して、災害前から続く交流を今も深めています。

### 【協力】

小岩内集落 松本 佐一 （災害発生時の区長）

小岩内集落の皆さん

有限会社いわふね新聞社 （村上市復興花火大会の画像の提供）

### 【作絵】

学校法人 国際総合学園 新潟デザイン専門学校

小幡和奏、佐野晃太、田倉愛永、新野史織、宮澤夏海

小山瑞稀、佐藤晴、西山幸汰、丸田寧々

## 小岩内のきせき

文・絵 新潟デザイン専門学校

令和7(2025) 年2月 発行

村上市

〒958-8501

新潟県村上市三之町 1 番 1 号

電話：0254-53-2111(代表) FAX：0254-53-3840

メール：seisaku-k@city.murakami.lg.jp

ホームページ：https://www.city.murakami.lg.jp/

※絵本「小岩内のきせき」は市ホームページからダウンロードすることができます。



